

瑞浪市議会 経済建設委員会

行政視察報告書



KDDI 維新ホール前

期 間：令和5年8月22日（火）～

8月23日（水）

視察地：山口県防府市・山口市

経済建設委員会行政視察 概要

視察日	令和5年8月22日（火）～8月23日（水）
集合時間	8月22日（火）7：30瑞浪駅改札前集合（7：43瑞浪駅出発）
視察1 22日	【山口県防府市】防府市クリーンセンター （1）防府市クリーンセンターにおける取り組みについて （2）防府市クリーンセンターの施設見学
視察2 23日	【山口県山口市】山口市役所 （1）農山村地域活性化ビジネス支援事業について （2）新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備について 【山口県山口市】山口市産業交流拠点施設 （1）山口市産業交流拠点施設（KDDI維新ホール）の施設見学
到着時間	8月23日（水）19：00 瑞浪駅解散（18：57 瑞浪駅到着）

参加者	瑞浪市議会 経済建設委員会		
	委員長 辻 正之	副委員長 成瀬徳夫	柴田幸一郎
	熊谷隆男	小木曾光佐子	樋田翔太
	柴田増三	事務局随行者梅村修司	

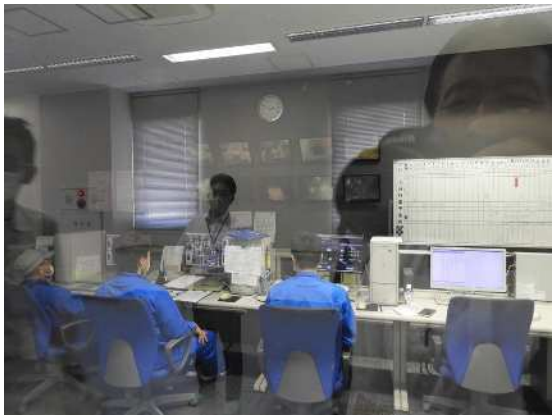
1. 交通機関（行き）8月22日（火）

目的地	内容	開始時間	終了時間	ホーム	
瑞浪駅集合		7:30			
瑞浪駅→名古屋駅	移動	7:43	8:42		JR中央線快速名古屋行
名古屋駅→徳山駅	移動	8:58	11:33		新幹線のぞみ109号博多行
徳山駅→防府駅	移動	11:57	12:25		JR山陽本線普通下関行
昼食		12:40	13:40		味のおもてなし「浜」 防府市車塚町5-36
視察		14:00	16:00		防府市クリーンセンター

2. 視察 1

日時	8月22日（火）14:00～16:00
視察1	防府市クリーンセンター 防府市大字新田364
内容	（1）防府市クリーンセンターにおける取り組みについて 整備・運営事業の概要 1. PFI法に基づき、設計・施工・運営を一括して民間に委託するDBO方式により実施。 焼却施設 1. 焼却規模 75 t／日×2基 焼却温度 850℃以上 敷地面積 48,300 m² 供用開始 平成26年4月 啓発施設 1. 研修室兼会議室 DVDにより施設の仕組みを分かり易く説明するとともに、ごみ減量化・資源化に向けた啓発を行う。 小学校中学年を対象とした環境クイズゲームによる環境学習が可能 2. 市民工房 紙パックを原料とする紙すきを体験できるリサイクル体験施設 3. 再利用品展示コーナー クリーンセンターへ持ち込まれたごみの中で再使用出来る物を展示し希望者へ提供する。 4. 見学コース 可燃ごみ処理施設・リサイクル施設の廃棄物処理工程を分かり易く案内する 見学コースの設置 （ごみピット・炉室・蒸気タービン発電機・中央制御室・発酵槽・リサイクル施設）



内容	(2) 防府市クリーンセンターの施設見学 1. 施設の概要 可燃ごみ処理施設 バイオガス施設 リサイクル施設 クリーンセンター施設模型 2. 施設の特徴 国内初のゴミ焼却・バイオガス化複合施設 ごみに含まれる資源を回収する施設 環境に配慮した施設 プラットフォームより投入されたごみは、ピットに貯められごみクレーンで焼却炉に投入される。焼却炉内で850℃以上の高温で焼却して灰にする。 3. 可燃ごみ処理施設 最新のごみ焼却・バイオガス化技術により高度な処理を可能にしたシステムです。 排ガスの熱を利用してボイラーで蒸気を作り蒸気タービンにより発電を行っている。 作った電気は施設内で利用し余った電気は電力会社に売電している。 定格出力3,600Kw 4. リサイクル施設 処理能力 23t／5h 不燃・粗大ごみ スチール缶・アルミ缶 ペットボトル 各色ビン 中央制御室でプラントの制御を監視する。 5. 指定ごみ袋の概要 特大45L 10枚 130円、 大28L 10枚 120円、 小17L 10枚 90円	   
-----------	--	--

	【山口県防府市】防府市クリーンセンター 経済建設委員会委員長 辻 正之
目的	ごみ焼却施設は本市において重要な課題となっています。現在の瑞浪市クリーンセンターは平成14年度に供用開始されたセンターで建物及び設備はともに経年劣化が進んでいます。現在では酸素製造装置の劣化により急遽LPガスを使用して対応しており、年内に交換することになっています。このように予期しない故障が発生することから、ごみ処理施設の建設にあたっては広域化が必要になってきており、多治見市、瑞浪市、土岐市の三市で検討を重ねて各市の焼却施設の更新時期を考慮し令和4年3月の「ごみ焼却施設広域化三市首長会議」において、将来のごみ焼却施設の広域化を改めて検討することで合意され、協議が進められています。こうした背景から今後のごみ焼却施設についてどのようなごみ焼却方法が良いのか検討するため、防府市クリーンセンターへ行政視察に行くこととしました。
所感	防府市クリーンセンターの施設では廃棄物資源循環分野におけるカーボンニュートラルの重要な施設の一つで、平成26年4月から供用開始し設計・施工・運営を民間企業に委託し、DBO方式（デザイン・ビルド・オペレート）により運営されていました。容器包装リサイクル法に完全対応したリサイクル施設とバイオガスごみ焼却施設でした。ごみ焼却施設は、ごみ選別施設とバイオガス化施設を組み合わせた施設で、敷地面積は約48,300㎡、焼却施設は1日75t×2基、燃焼温度は850℃以上で稼働し、発電電力は3,600KWでした。この焼却炉は最新のごみ焼却・バイオガス化技術により高度な処理を可能にした施設です。ごみを燃焼する際に発生した高温の排ガスの熱を利用してボイラーで蒸気を作り、その蒸気を使って蒸気タービンと発電機を回転させ電気を作り、作った電気は施設内で利用し余った電気は電力会社に売電していました。 また、クリーンセンター場内のし尿処理施設及び隣接する公共下水道浄化センターで発生する汚泥を、可燃ごみ処理施設のバイオガス化施設で全量受け入れられていて汚泥受け入れポットから、発酵槽に送られ発酵処理されてバイオガスを発生させて利用していた。 なお、市民の環境意識の向上及び環境学習の場として活用されていて、ごみ分別体験や紙すき体験、再利用品展示コーナーにはクリーンセンターへ持ち込まれたごみの中で再使用できるものを展示し希望者へ提供する、取り組みなどの環境学習の場として啓発施設が設置されていました。 施設の特徴 - 国内初のごみ焼却・バイオガス化複合施設 バイオガス化施設・ごみ焼却施設を組み合わせ高効率な廃棄物発電を実現していました。 - ごみに含まれる資源を回収する施設 手で選別して、処分するごみを極力減らす。 - 環境に配慮した施設 ごみの処理工程で発生する粉じんや臭気は、施設内の各種装置で清浄化される。 今回の防府市クリーンセンターの視察では新たなごみ処理施設として3R（発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再生利用（Recycle））の実践活動をされていました。今後は本市においても、環境にやさしい最新鋭のごみ処理施設を作ってもらえるように進めていけると良いと思いました。

3. 交通機関（移動） 8月22日（火）

目的地	内容	開始時間	終了時間	ホーム	
防府駅→新山口駅	移動	16:17	16:34		JR山陽本線普通下関行
新山口駅→湯田温泉駅	移動	16:43	17:04		JR山口線普通宮野行
ホテル	移動	17:20			スーパーホテル山口湯田温泉 山口市湯田温泉4丁目1-5
夕食	移動	18:30			我が家（創作料理） 山口市湯田温泉2丁目1-25

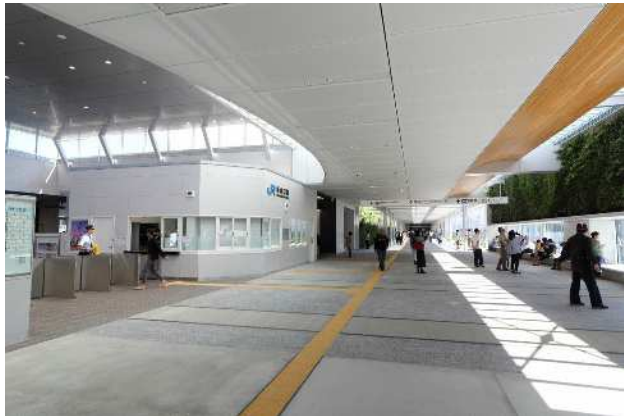
4. 視察2

日時	8月23日（水）9:30～12:00				
視察2	山口市役所 山口市亀山町2-1				
	山口市役所玄関前での集合写真 山口市議会 入江幸江 議長				

日時	8月23日（水）9：30～12：00
視察2	（1）農山村地域活性化ビジネス支援事業について
内容	○農山村地域活性化ビジネス支援事業について 1. 農山村と都市が共存共栄するまちづくり 「個性と安心の21地域づくり」と 「広域県央中核都市づくり」を一体的に進める。 2. 農山村エリアの状況 過疎地域、県中山間地域 県中山間地域等と同程度に人口減少が進んでいる地域 3. 後期基本計画の重点プロジェクト 21地域づくりと農山村活性化 農山村エリアの地域経済活性化と移住・定住促進の強化 9地域を「農山村エリア」として位置付け、地域活性化の取り組みを重点的に推進する。 4. 事業目的 地域資源の活用し、雇用の創出や地域経済の波及効果の創出、地域課題の解決などの地域の活性化につながる事業を応援する。 5. 事業内容 山口市内の農山村エリア（仁保、小鯖、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東）の地域資源を活用し、雇用の創出や地域内への経済波及効果の創出、地域課題の解決などの地域の活性化につながる事業を実施する事業者を対象として、アイデアを提案していただく審査委員会を行い、採択された事業者に補助金を交付する事業となります。 補助金額は最大600万円（補助率3分の2）。また、事業経費の自己負担部分をクラウドファンディングにより調達する場合には、その手数料部分を最大100万円（補助率10分の10）補助します。 6. 実績や取り組みの事例について レストラン「蘭土」の事業継承に伴う阿東地域活性化事業 デイキャンプ場の造成と貸別荘の新築 梨園の事業承継及び観光梨狩り開園による産地の振興 地域課題解決開発Lab拠点整備プロジェクト



	【山口県山口市】山口市役所 農山村地域活性化ビジネス支援事業について 辻正之
目的	本市においても農業及び農村地域を取り巻く現状は、食料自給率の低迷や、高齢化等により耕作放棄地の増加などで、農村の持つ多面的機能の低下がみられます。更なる食の安全性や地産地消の推進など、農業経営の体質強化などが求められています。今、日本の人口は減少し食生活も変化していることから、米の消費量は年々減少しています。その背景には日本の食生活の変化があります。米の消費量が減少する一方で、肉類や乳製品などの動物性たんぱく質を多く取るようになりました。消費量の減少にともない、米の生産量は1970年の1,253万トンから2020年の776万トンと大幅に減り続けていると言われます。これは、米の生産者が離農していく事で、耕作放棄地が拡大しているからだと思います。また、高齢化率も上がっており平成27年の65歳以上の割合が65%でしたが、令和3年には69%まで上がり高齢化に歯止めがかからないのが現状です。本市の農業で最も深刻な課題は高齢化です。このように農業・農村をめぐる社会的・経済的諸情勢が急激に変化しており、農業・農村の将来が見通せないのが現状だと思います。山口市の農山村地域活性化ビジネス支援事業の取り組みを参考にして本市の農業・農村の活性化ができるよう視察目的としました。
所感	山口市農山村ビジネスでは令和5年度から9年度を計画期間として取り組まれていました。この計画は後期基本計画推進の方向性として「ずっと元気な山口」の実現に向けて取り組まれていて、農山村と都市が共存共栄するまちづくりを目指していました。山口市が進める農山村と都市が共存共栄するまちづくりは、平成17年の平成大合併により山口市、小郡町（おごおり）、秋穂町（あいお）、阿知須町（あじす）、徳地町（とくじ）の旧1市4町と、平成22年に阿東町（あとう）と合併し、山口市の面積は1023.23km²となり県内で最大の面積となり人口は19万人となりました。この中でまちづくりの1つとして9町単位エリア仁保（には）、小鯖（おさば）、陶（すえ）、鑄銭司（すぜんじ）、名田島（なたじま）、秋穂二島（あいおふたじま）、秋穂（あいお）、徳地（とくじ）、阿東（あとう）の過疎地域と県中山間地域と同程度の人口減少が進んでいる地域のエリア、そして21の地域が農山村エリアとなっていました。山口市は新山口駅が都市拠点エリアと市役所周辺のエリアがあり2つの都市エリアがある市です。そこで21の地域づくりと農山村活性化の取り組みとして農山村エリアの9地域を位置付け、地域経済や移住の促進をしっかりと取り組んでいました。農山村地域活性化ビジネス支援事業は令和4年度に取り組みが始められています。地域経済の活性化の支援を行い、雇用の創出や企業支援などが目的で行われていました。事業の実施期間や補助対象については年度内に終わっていただく、また、農山村エリア内の活動拠点として行うもので事業対象事業は5年間は続けて頂くことが条件でした。活動拠点取得費は3分の2、クラウドファンディングに係る手数料も支援の対象で、補助率の上限額は最大で600万円と設定されていました。こういった事業者を支援して行くのか、については審査委員会で審査されていました。 本市においても人口の減少に伴う農村地域の過疎化などにより、ますます高齢化が進んで行くことから農業・農村の活性化を進める必要性を感じました。

視察 2	(2) 新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備について KDDI維新ホール
内容	1. 新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備 新山口駅北地区重点エリア整備は、小郡都市核エリアのうち新山口駅表口西側一帯の約12ヘクタールを官民が一体となって重点的に整備を行う「重点エリア」として位置づけ、新たな市街地の形成を進めるものです。 重点エリア内の土地利用をA・B・Cの3ゾーンに区分し、先行整備地区Aゾーンについては、多様な交流を通じて新たな知恵や創造性生まれる仕組みとして、多目的ホールや産業支援機能を備えた拠点施設を整備をして、Bゾーン、Cゾーンについては、民間誘導地区として民間主導による整備をしている。  2. 新山口駅ターミナルパーク整備  ○南北自由通路 ○橋上駅舎 ○表口駅前広場 ○新幹線口駅前広場 ○既存自由通路 ○県道新山口停車場長谷線 ○アクセス道路 3. B・Cゾーン「市街地再開発事業」 民間誘導地区でマンション、ホテル賃貸住宅、商業、業務施設の整備 再開発準備組合設立平成7年 

日時	8月23日（水）13:30～14:30
視察2	山口市産業交流拠点施設（KDDI維新ホール）施設見学
内容	1. 施設の概要 床面積 約1,190㎡、天井高 17.2m 座席数 規模に応じて1,200席、1,500席、1,700席、2,000席に変更可能 平土間形式では約1,000㎡のスペースを確保 2. 施設構成 (メインホール) メグリバ 多種多様の交わりで、ビジネスチャンス のめぐりあえる場 (メグリバ) (チャレンジショップ) チャレンジ ショップ 委託して商品 を展示販売す る。 (カフェ・シェアキッチン) カフェ・シェアキッチン 飲食店のチャレンジの場として、シェアキッチンを設置 アカデミーハウス 次世代リーダーの育成を目的に作られたシェアハウスでここでしかできない経験を通して、将来の山口地域を牽引する次世代リーダーを目指した学生の過ごす場所。 その他 メディフィットラボ、オフィス、会議室、フィットネスジム、スタジオ (アカデミーハウス)

	【山口県山口市】新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備について 辻正之 山口市産業交流拠点施設（KDDI維新ホール）の施設見学
目的	本市においても瑞浪駅周辺の再開発が進められています。今回の視察では本市のJR瑞浪駅北エリアに建設される複合公共施設の整備を中心に山口市産業交流拠点施設を視察して参考になればと思いました。本市では「未来の子どもたちに渡せるまち」をコンセプトに、中心市街地に相応しい、活気と魅力あるまちづくりを進めています。本市の駅北地区では、既存の文化センターのホール機能や図書館等を集約し、市民ニーズに合わせた機能を追加した公共施設の整備を行います。また、南地区では、市街地再開発事業による住居・商業施設の入ったビルやまちなみを整備し、将来にわたり活気と魅力あるまちを目指しています。特に駅北エリアでの複合施設では多様な閲覧席やカフェ等を併設したサロンのような図書館や式典等を行うことができるホール、充実したキッズスペースや学習室等を整備し、誰もが気軽に立ち寄れる複合施設を作ることを目指していると思います。今後のスケジュールは駅北公共施設として、令和5年度は整備手法の検討・土地建物調査、令和6年度から令和7年度は建築基本設計・実施設計、令和8年度から令和9年度は建築工事、令和10年度以降は駅北地区複合施設開業となっています。今回の山口市産業交流拠点施設を視察することで「子どもたちに渡せるまち」となるように検討することが目的です。
所感	山口市では1) 新山口駅ターミナルパーク整備と2) 新山口駅北地区重点エリア整備とが行われていました。この内ターミナル整備は新山口駅周辺の整備として壁面緑化や駅前広場などが進められていました。新山口駅北地区重点エリア整備ではにぎわいや交流をもたらす核となる施設でした。その施設が山口市産業交流拠点施設でKDDI 維新ホールです。駅においては北と南が自由に行き来できる自由通路を作って北と南とで渡れるようにしていました。また駅前広場が整備されていてタクシーとか一般利用者の駐車場が作られています。これが新山口駅ターミナルパーク整備でした。新山口駅北地区重点エリアはターミナル整備エリアと北と南のエリアを合わせて整備されています。近くにはAゾーン、Bゾーン、Cゾーンがありました。Aゾーンでは先行整備地区として拠点施設を作った場所となっています。この場所は市が公共として投資をしている場所です。あとBゾーン、Cゾーンは民間誘導地区として位置付けられています。Bゾーン、は駅北側にある民間の再開発準備組合による場所で、既存の建物を解体して、マンション、ホテル、賃貸住宅などが作られていました。この場所も市でも支援がされていました。Aゾーンは産業交流拠点施設として整備され、にぎわいや活気の広がる施設で山口市としても大きなプロジェクトで大きな施設でした。整備に当たっては設計・建設・維持管理・運営という所を民間事業者によるPFI的手法により行なっていました。このPFIであれば設計から運営・建設までのパターンなどもあり、民間の経営事業者にまかせる仕組みとなっていました。資金については公共で通常道理に調達し合併特例債を活用して実施されています。民間の活力をどう取り組んで行くのかとしてはコンベンション機能は必要と考えられ、大きな目的ホールや会議室の設置や民間の知恵を引き出すために提案を公募されていました。産業交流拠点施設の具体的な機能としてはメインホールは最大2,000人を収容できる可変型のメインホールでした。ほかに産業支援機能として「産業交流スペースのメグリバ」で企業の相談や中小企業の支援を行っていました。市民からの提案のあった「健康づくりとしてメディフィットラボ」、「シェアハウス型のアカデミーハウス」など多機能複合施設となっていました。 この施設の特徴は本市にも当てはまる所もありました。それは予算規模としても限られた予算で取り組むため、産業支援とか人材交流とかを行う上で市だけの機能ではなく公的機関等のオフィスとして県の関係の事務所やハローワーク、国の機関も入っていただき運営をする、つまりテナントに入ってもらふ事でした。本市においても公共機関の事務所としても活用してもらえるテナントも必要だと思いました。

5. 交通機関（帰り）8月23日（水）

目的地	内容	開始時間	終了時間	ホーム	
維新ホール→新山口駅	移動	14:30	14:40		徒歩
新山口駅→名古屋駅	移動	15:11	17:55		新幹線のぞみ38号東京行
名古屋駅→瑞浪駅	移動	18:07	18:57		JR中央本線快速中津川行
瑞浪駅解散	移動	19:00			瑞浪駅前

山口県防府市 視察資料

(1) 防府市クリーンセンターの取り組み



防府市クリーンセンター

H O F U C I T Y C L E A N C E N T E R



防府市

3Rの実践による未来につなぐ循環型社会の構築

環境にやさしい最新鋭のごみ処理施設を活用し、 循環型社会の構築を進めます。

防府市では、新たなごみ処理施設の稼働を契機に、より一層の3R〔発生抑制(Reduce)・再使用(Reuse)・再生利用(Recycle)〕の実践活動を展開し、将来世代に確かな未来を引き継いでいくことができる循環型社会の構築を目指しています。

このため、平成26年4月からの分別品目の大幅拡大をはじめ、小型家電リサイクル法に基づく高度な金属リサイクルの実施、焼却灰の全量セメント原料化による最終処分量の削減など、ごみ減量化や資源の有効利用を図る取組を積極的に進めています。

ごみの分別収集品目(平成26年4月開始)

■燃やせるごみ

■資源ごみ

- プラスチック製容器包装 ●紙製容器包装 ●紙パック ●新聞 ●ダンボール ●雑がみ
- ペットボトル ●缶 ●無色びん ●茶色びん ●その他の色びん

■危険ごみ

- スプレー缶類 ●乾電池類 ●水銀体温計 ●蛍光灯 ●ライター類 ●陶磁器・ガラス類

■燃やせないごみ(可燃性粗大ごみの一部を含む。)



施設概要

- 施設名称: 防府市クリーンセンター
- 所在地: 山口県防府市大字新田364番地
- 処理方式: ●可燃ごみ処理施設
焼却設備: 連続燃焼ストーカ式並行流炉
熱回収設備: 過熱器付自然循環式水管ボイラー
●バイオガス化施設
発酵設備: 乾式高温メタン発酵
●リサイクル施設
受入・手選別・破碎・選別・圧縮梱包・搬出
- 処理能力: ●可燃ごみ処理施設
焼却設備: 75t/日×2基
発電設備: 定格出力3,600kW
●バイオガス化施設
発酵設備: 51.5t/日(可燃ごみ34.4t/日 汚泥17.1t/日)
●リサイクル施設 23t/5h
- 敷地面積: 約48,300m²
- 建築面積: ●可燃ごみ処理施設 約3,427m²
●リサイクル施設 約4,404m²
- 工期: 平成22年6月~平成27年7月
- 供用開始: 平成26年4月1日

施設の特徴

1 国内初のごみ焼却・バイオガス化複合施設

選別施設・バイオガス化施設・ごみ焼却施設を組み合わせ、高効率な廃棄物発電を実現する、国内初のごみ処理複合施設です。選別施設は可燃ごみからバイオガス化に適したごみを選別し、選別されたごみはバイオガス化施設において発酵処理されます。

2 ごみに含まれる資源を回収する施設

循環型社会に対応し、不燃ごみや粗大ごみの中から資源物を回収することを目的としています。収集された資源ごみを人の手で選別し、処分するごみを極力減らします。

3 環境に配慮した施設

周辺環境との調和を図るため、建物等の形状や色彩、敷地周辺の緑化に配慮した施設です。また、ごみの処理工程で発生する粉じんや臭気は、施設内の各種装置により浄化されます。

施設配置図



可燃ごみ処理施設

最新のごみ焼却・バイオガス化技術により高度な処理を可能にしたシステムです。

処理フロー



■プラットホーム

運び込まれたごみは、プラットホームの投入扉を通してごみビットに投入されます。



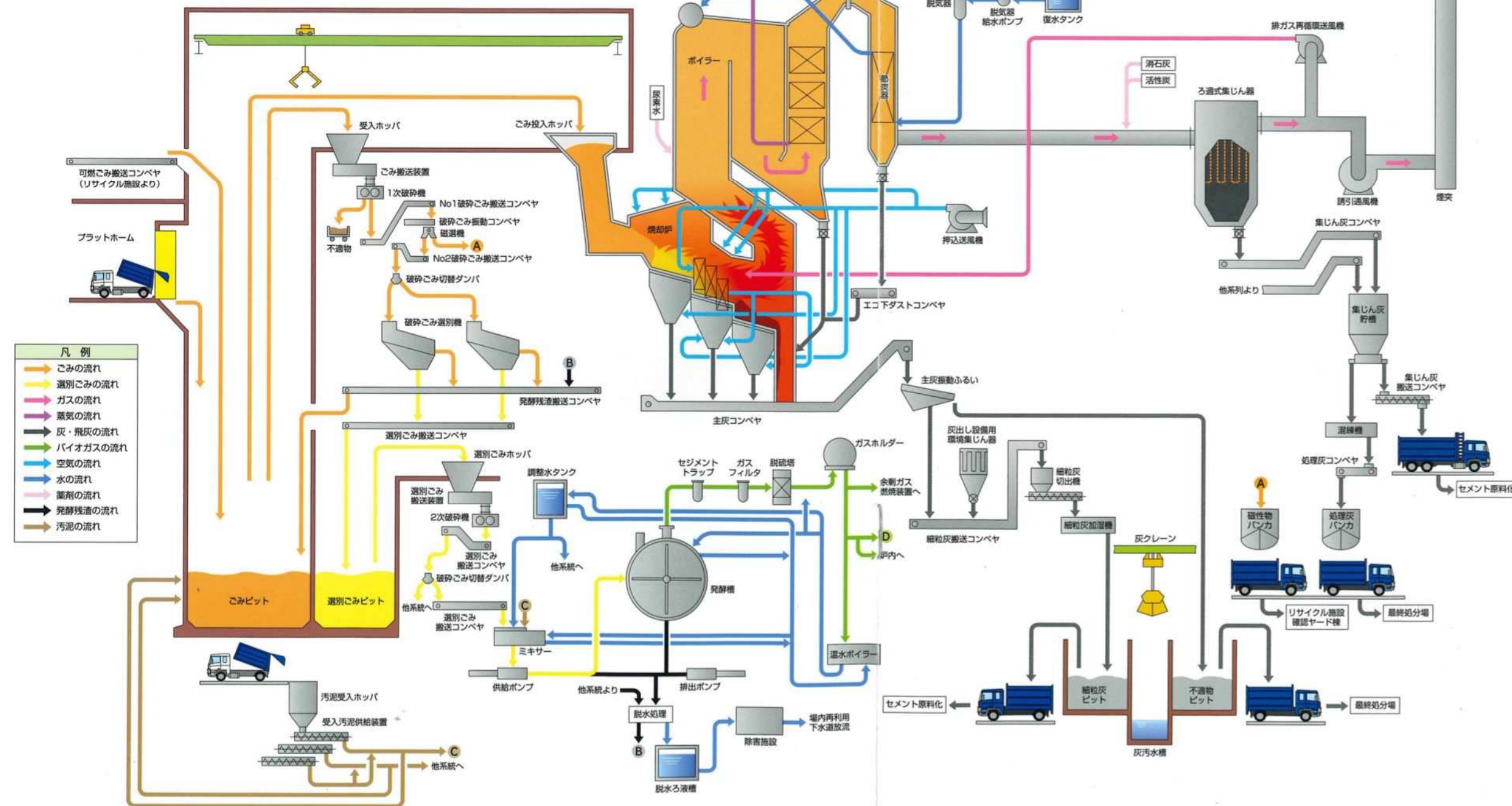
■ごみビット

ごみビットに貯められたごみは、ごみクレーンにてごみ投入ホッパへ投入します。



■独立過熱器

バイオガスを燃焼させ、独立過熱器を通じてボイラーで発生した蒸気を更に過熱します。



■ボイラー

焼却炉より送られてきた排ガスの熱を利用して蒸気をつくります。



■蒸気タービン発電機

ボイラーおよび独立過熱器で発生した蒸気で発電を行い、施設内の電力を賄うとともに余剰電力は売電します。



■ろ過式集じん器

排ガスの中に含まれる有害な物質を取り除き、クリーンな状態にします。

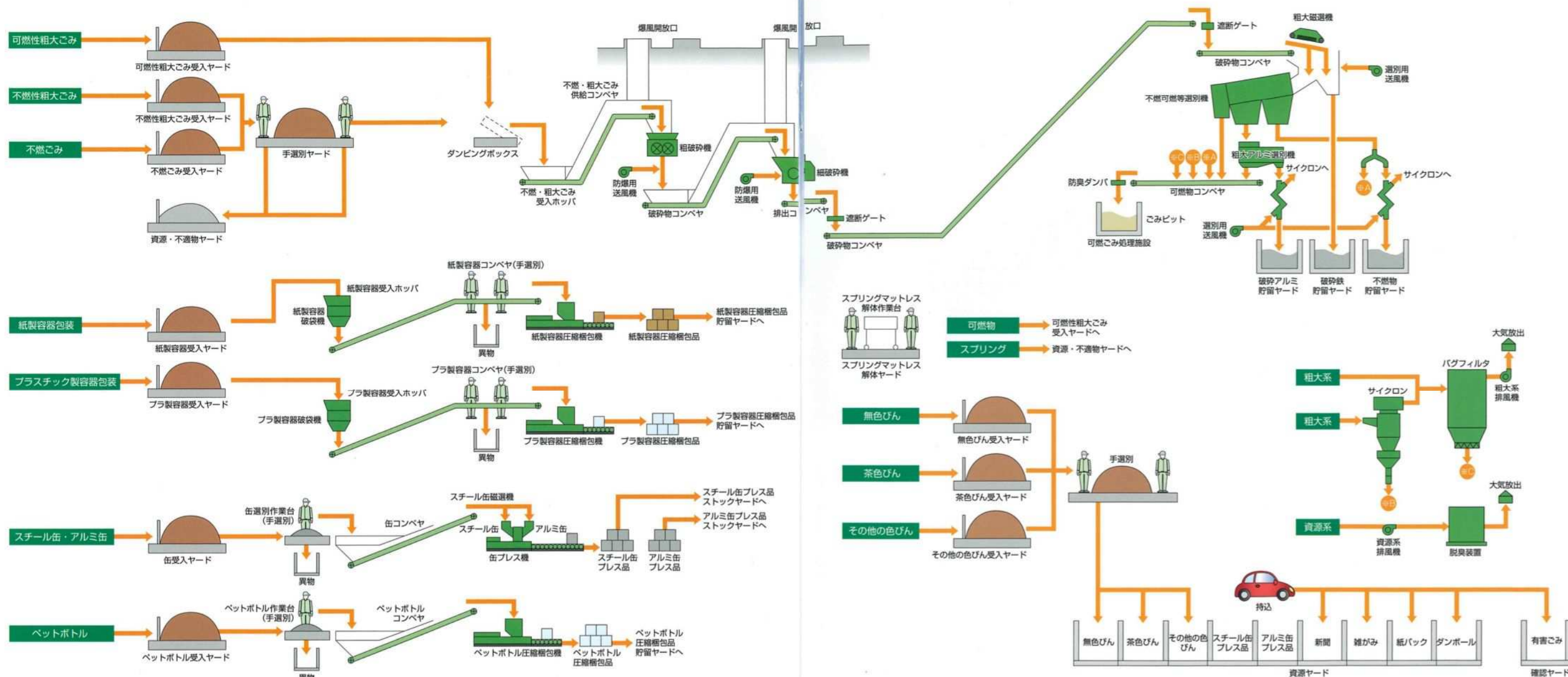


■発酵槽

選別ごみおよび受入汚泥を発酵処理し、バイオガスを生成します。

リサイクル施設 安全で効率的な処理が大切な資源を未来へとつなぎます。

処理フロー



■プラットフォーム
搬入されたごみをここからそれぞれのラインへ送ります。



■粗破砕機
ゆっくりと回転する刃でゴミを大まかに破砕し、その後の処理をスムーズにします。



■細破砕機
高速回転する二次破砕機でたたくことで、ゴミをさらに細かくします。



■不燃可燃等選別機
破砕ゴミを穴の大きさの回転式ふるいによって不燃物・可燃物に分別します。



■手選別作業
手作業により異物や処理不適物を取り除きます。



■缶プレス機
回収されたスチール缶やアルミ缶を圧縮します。



■ペットボトル圧縮梱包機
回収されたペットボトルを圧縮し梱包します。

■施設案内図



防府市クリーンセンター

〒747-0825 山口県防府市大字新田364番地
TEL/0835-22-4742 FAX/0835-24-4389

■事業主体

防府市

〒747-8501 山口県防府市寿町7番1号
TEL/0835-23-2111

■施工監理

株式会社日本総合研究所

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-18-1 大崎フォレストビルディング
TEL/ 03-6833-6300 FAX/ 03-6833-9480

■設計・施工

川崎重工業株式会社

【東京本社】

〒105-8315 東京都港区海岸一丁目14番5号
プラント・環境カンパニー 環境プラント営業部 東部営業課
TEL/03-3435-6655 FAX/03-3435-6601

【関西支社】

〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目1番29号
プラント・環境カンパニー 環境プラント営業部 西部営業課
TEL/06-6348-8262 FAX/06-6348-8289
URL: <http://www.khi.co.jp/>

山口県山口市 視察資料

(1) 農山村地域活性化ビジネス支援事業



山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業について

令和5年8月23日(水)

山口市農林水産部 農山村づくり推進課

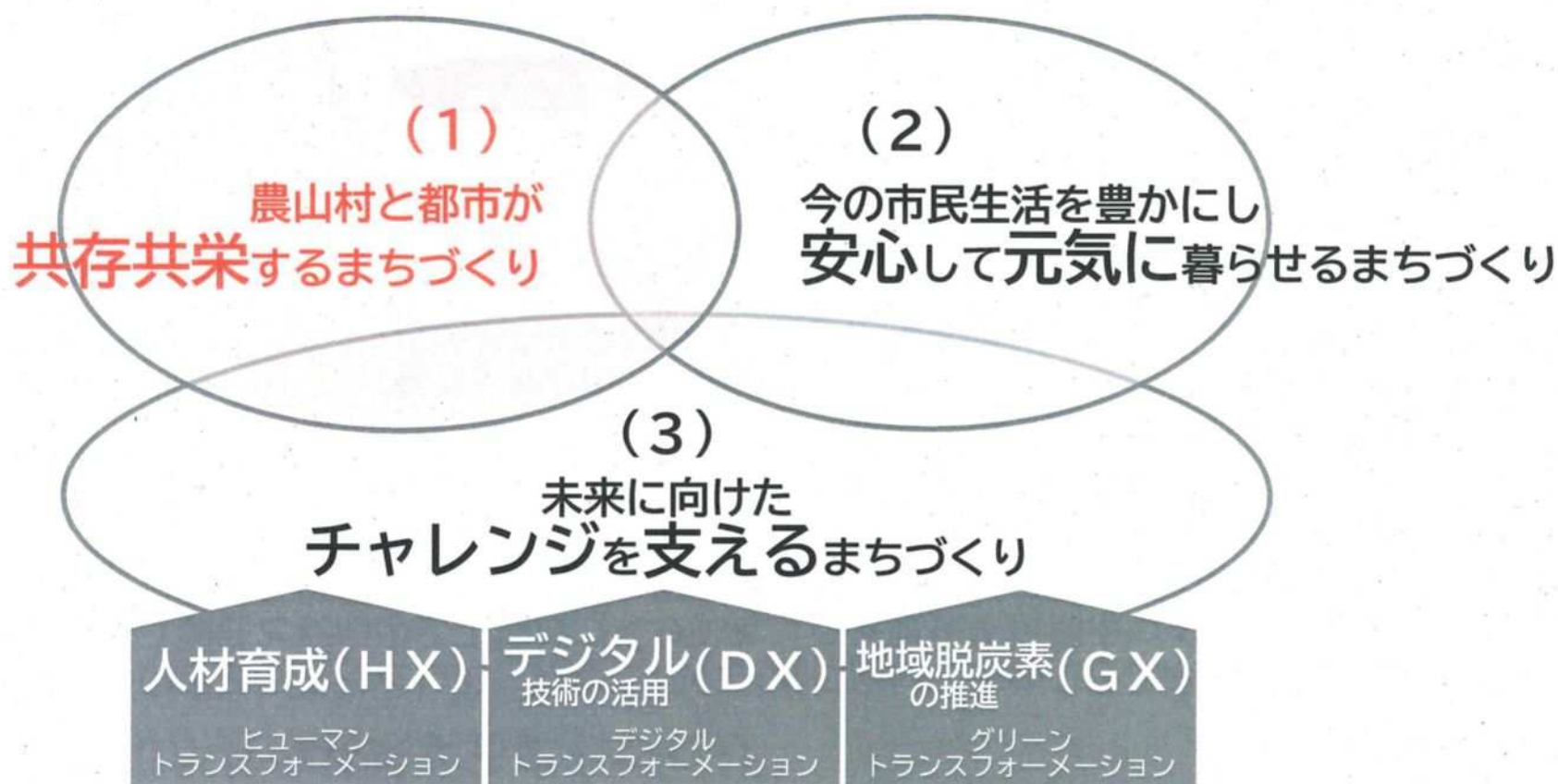
《目 次》

- 1 第二次山口市総合計画後期基本計画（令和5年度～令和9年度）について
 - （1）後期基本計画推進の方向性
 - （2）農山村と都市が共存共栄するまちづくり
 - （3）農山村エリアの状況
 - （4）後期基本計画の重点プロジェクト
- 2 山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業について
 - （1）事業の概要について
 - （2）実績や取組の事例について

1 第二次山口市総合計画後期基本計画（令和5年度～令和9年度）について

（1）後期基本計画推進の方向性

「ずっと元気な山口」の実現
～誰もが活躍し まちもひとも 今も未来も 元気な山口に～



(2) 農山村と都市が共存共栄するまちづくり

新市発足以降のまちづくりとして、県都山口の発展に向けて進めてきた本市の都市政策の2つの柱である「個性と安心の21地域づくり」と「広域県央中核都市づくり」の取組を一体的に推進し、更なる価値創造や経済循環を図る好影響・好循環の対流型のまちづくりを進めることで、農山村も都市も共存共栄し、全ての地域において、安心して住み続けられるまちづくりを進めていきます。



(3) 農山村エリアの状況

市内21地域における人口の推移（国勢調査）

地区	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R2/H7 25年間増減率	R2/H27 5年間増減率
大 殿	12,312	11,671	10,266	9,103	8,826	8,059	7,496	7,566	7,353	▲ 19.2%	▲ 2.8%
白 石	10,622	9,726	10,514	10,269	9,399	10,064	9,941	10,390	10,467	1.9%	0.7%
湯 田	14,599	15,076	14,025	14,137	13,846	13,430	12,588	12,981	13,185	▲ 6.7%	1.6%
仁 保	4,026	4,239	4,104	3,904	3,849	3,721	3,579	3,256	3,019	▲ 22.7%	▲ 7.3%
小 鯖	3,470	4,779	5,067	5,428	5,310	5,066	4,768	4,706	4,347	▲ 19.9%	▲ 7.6%
大 内	11,708	14,220	15,991	18,341	20,439	21,494	22,158	22,878	22,715	23.8%	▲ 0.7%
宮 野	11,894	12,863	13,217	13,851	14,549	15,343	15,509	15,136	14,214	2.6%	▲ 6.1%
吉 敷	7,319	8,549	10,602	12,195	13,741	14,494	14,450	14,823	14,602	19.7%	▲ 1.5%
平 川	10,596	13,275	14,859	16,307	17,531	19,380	19,479	20,402	20,744	27.2%	1.7%
大 歳	7,182	8,023	9,442	10,745	11,969	12,842	13,036	13,481	13,924	29.6%	3.3%
陶	2,515	2,715	2,804	2,889	2,772	2,733	2,688	2,584	2,328	▲ 19.4%	▲ 9.9%
鑄 銭 司	3,379	3,809	3,773	3,755	3,571	3,369	3,153	3,064	2,763	▲ 26.4%	▲ 9.8%
名 田 島	1,945	1,889	1,783	1,689	1,651	1,504	1,410	1,290	1,187	▲ 29.7%	▲ 8.0%
秋 穂 二 島	3,577	3,547	3,382	3,188	2,999	2,827	2,573	2,333	2,099	▲ 34.2%	▲ 10.0%
嘉 川	6,824	7,016	6,932	7,136	7,130	7,055	6,874	6,533	6,611	▲ 7.4%	1.2%
佐 山	2,776	2,816	2,700	2,642	2,865	2,876	2,833	2,704	2,656	0.5%	▲ 1.8%
小 郡	18,832	20,116	21,772	22,881	23,107	23,009	24,250	25,502	26,344	15.1%	3.3%
秋 穂	9,060	8,997	8,481	8,149	7,941	7,697	7,262	6,680	6,113	▲ 25.0%	▲ 8.5%
阿 知 須	8,327	8,407	8,385	8,300	8,823	9,031	9,176	9,426	9,233	11.2%	▲ 2.0%
徳 地	11,137	10,571	9,753	9,130	8,375	7,683	6,771	5,915	5,196	▲ 43.1%	▲ 12.2%
阿 東	11,490	10,845	9,941	9,133	8,422	7,620	6,634	5,772	4,866	▲ 46.7%	▲ 15.7%
総 数	173,590	183,149	187,793	193,172	197,115	199,297	196,628	197,422	193,966	0.4%	▲ 1.8%

※秋穂・徳地・阿東は過疎地域、仁保・小鯖・鑄銭司は県中山間地域、
陶・名田島・秋穂二島は県中山間地域等と同程度に人口減少が進んでいる地域

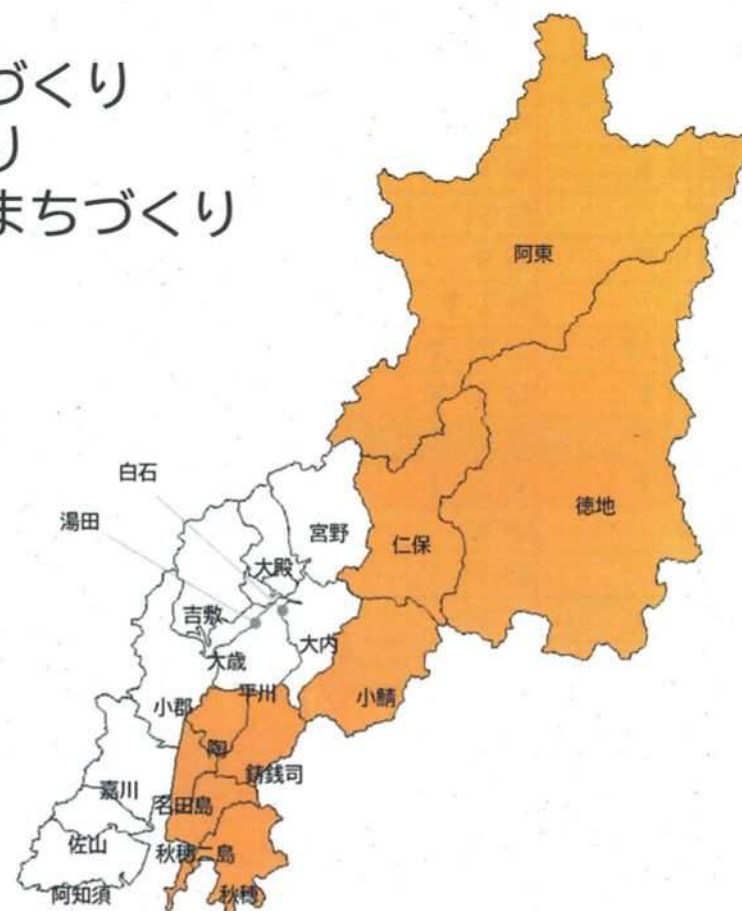
(4) 後期基本計画の重点プロジェクト

- 重点PJ1 子ども・子育て全力応援のまちづくり
- 重点PJ2 若者活躍と雇用創出の環境づくり
- 重点PJ3 人生100年時代の元気活躍のまちづくり
- 重点PJ4 21地域づくりと農山村活性化**
- 重点PJ5 元気の県都づくり
- 重点PJ6 持続可能な未来都市づくり

農山村活性化に向けた取組の方向性等

- ・ 農山村エリアの地域経済活性化
- ・ 移住・定住促進の強化

など



仁保、小鯖、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東の9地域を「農山村エリア」として位置付け、地域活性化の取組を重点的に推進する



2 山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業について

(1) 事業の概要について

① 事業の目的

山口市内の農山村エリアにおいては、人口減少や大都市圏への転出超過、少子高齢化の進展が続いており、こうした諸課題に対応し、地域課題の解決と地域の活性化に取り組む必要があります。

本市の農山村エリアには、人材や、農林水産物、自然環境等の優れた地域資源が多くみられることから、その地域資源を活用し、潜在的な地域の強みを生かしたビジネスを展開することで、地域内外の経済の好循環を生み出す可能性を有しています。

本事業では、上記のような地域資源を活用し、雇用の創出や地域経済の波及効果の創出、地域課題の解決などの地域の活性化につながる事業を応援するものです。

② 補助対象事業者

補助対象者は、下記のすべての要件を満たすものとします。

- ・ 自らが事業主体となって、地域活性化ビジネスを実施する意思があること。
- ・ 社会貢献等の目的を持って地域活性化ビジネスを実施する意思があること。



③ 事業実施期間

事業の実施期間は、補助金の交付決定通知を受けてから3月15日までに事業が完了するものが対象となります。

④ 補助対象事業の要件

- ・ 農山村エリアの地域活性化に資すると認められる事業であること。
- ・ 農山村エリア内の活動拠点において行う事業であること。
- ・ 補助対象事業の開始後5年以上継続して当該補助対象事業を実施すること。
- ・ 活動拠点の新築、整備に係る工事は、市内に本店又は支店を有する法人又は市内に住所を有する個人事業者が施工するものであること。

※単に事業者の利益にとどまる事業は対象外となります。



⑤ 補助対象経費

対象経費	内容	対象外となるもの
活動拠点取得費	活動拠点の新築及び活動拠点として使用する空き家、空き店舗、倉庫、作業場等の購入に要する費用	土地取得に係る費用
活動拠点整備費	活動拠点の改修及び耕作放棄地、遊休農地等の整備に要する費用	
設備・備品費	機械設備・備品等の導入に要する費用	車両購入費（移動販売事業用車両の購入に要する費用を除く）
人件費	新たな雇用に要する費用	役員報酬並びに申請者及びその親族（配偶者、子及び同一の生計を営む者）の雇用に要する費用
広告宣伝費	ホームページ作成、各種メディア媒体を通じた広告宣伝等に要する費用	商談等の交通費、宿泊費
手数料	法人登記や知的財産権の登録に要する費用	
原材料費	原材料に要する費用（農山村エリアから購入する原材料に要する費用に限る。）	
委託費	補助対象事業に必要な業務の一部であって、補助事業者が直接実施することができないものの委託に要する費用	調査・研究費及び計画作成に要する費用
クラウドファンディングに係る経費	決済手数料を含む	支援者への情報発信（お礼も含む）に要する費用

⑥ 補助率・補助限度額

対 象 経 費	区 分	補 助 率	補助上限額
活動拠点取得費	補助対象者の住所と活動拠点の所在地が同一地域の場合 ※1	3分の2以内	300万円
	上記以外の場合	2分の1以内	200万円
活動拠点整備費、設備・備品等	補助対象者の住所と活動拠点の所在地が同一地域の場合 ※1	3分の2以内	300万円
	上記以外の場合		
手数料	クラウドファンディングに係る経費	10分の10以内	100万円

※1 団体にあっては、補助対象事業に従事する構成員の住所と活動拠点の所在地が半数以上同一の地域の場合

※2 補助金額における1,000円未満の端数は切り捨て

⑥ 補助率・補助上限額

【イメージ】 補助対象者の住所と活動拠点の所在地が同一地域の場合

事業に要する費用 1,000万円		
補助対象経費 900万円 活動拠点取得費 450万円 + その他 450万円		補助対象外経費 100万円
600万円 (2/3)	300万円 (1/3)	
 		
地域活性化ビジネス支援事業補助金 600万円 $900万円 \times 2/3 = 600万円$ (補助限度額 600万円)	自己調達(自己資金) 400万円 ※クラウドファンディングで調達の場合、手数料 部分について100万円を上限に別途補助	



⑦ 審査委員会の実施

ア 選択の方法

外部有識者等によって構成する「山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業審査委員会」により、厳正に審査を行います。

イ 審査委員会の実施

申し込みされた事業について評価を行う、審査委員会（公開プレゼンテーション）を6月から8月にかけて実施する予定としています。ただし、選択事業において予算額に達した時点で募集を締め切ります。

ウ プレゼンテーション実施方法

プレゼンテーションは事業内容の説明（20分程度）及び審査委員からの質疑応答（15分程度）の35分間とします。

⑧ 審査委員会への申込方法

ア 審査委員会参加意向の申出について

審査委員会に参加する意思のある事業者については、審査委員会開催1か月前までに参加意向申出書をメール等により提出

イ 募集

審査委員会2週間前までに、「ウ 申込書類」を提出。ただし、審査委員会において採択された事業が予算額に達した場合、募集を締め切るとともに、既に申込書類を提出されていても、次の審査委員会は開催いたしません。

ウ 申込書類

- ・ 山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業審査委員会参加申込書
- ・ 事業計画書
- ・ 概算収支予算書
- ・ 誓約書
- ・ 上記に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

工 評価基準

審査項目	審査事項	配点
効果性	提案内容が、農山村エリアの雇用の創出や経済波及効果、地域の課題解決など地域活性化につながる事業であるか。また、地域への波及効果が見込めるものとなっているか。	30点
適格性	提案内容の基本的な考え方が、農山村エリアの抱える人口減少や人口構造の変化に伴う様々な課題について理解し、その解決につながるものとなっているか。	25点
実現性・確実性	予算案と事業内容の整合性が取れ、実現すると見込まれているか。事前に活用する地域資源や市場ニーズを把握しているか。本補助金終了後も継続して5年以上事業を継続する見通しがあるか。	15点
発展性・独創性	提案内容が今後の展開を期待できるものか。新しい工夫やアイデアのある独創的なものとなっているか。	15点
地域との融和性	事業の実施について地域と協力体制ができており、事業を実施する地域との融和性は取れているか。	10点
費用対効果	コストと効果のバランスは適正なものか。	5点

各項目を5段階にて評価を行い、各委員の合計点の平均が100点中75点以上の評価を得た者の中から、予算額の範囲内で上位の者を選択します。

(2) 実績や取組の事例について

令和4年度 認定事業一覧（4件 17,866千円）

事業者名	事業名	平均点	地域
企業組合 アグリアートジャパン	レストラン「蘭土」の事業継承に伴う 阿東地域活性化事業	86.0点	阿東
二象舎 原田和明	デイキャンプ場の造成と貸別荘の新築	78.2点	秋穂
金子 雅人	梨園の事業承継および観光梨狩り開園 による産地の振興	78.2点	阿東
有限会社FirstClass	地域課題解決開発Lab拠点整備プロ ジェクト	77.2点	阿東

① レストラン「蘭土」の事業継承に伴う阿東地域活性化事業

【事業概要】

レストランの承継と地元食材を使ったメニュー開発、マルシェ、意見交換会の実施
若者農業従事者の人材バンクセンター事業とサブリース事業（市空き家バンクと連携）

【波及効果】

閉店予定だった従業員5名の継続雇用

人材バンクセンターの農家の季節的労働不足の解消

サブリース事業による、移住者や若者の農業者の確保

（改修前）



（改修後）



事業開始年月

令和5年4月

② デイキャンプ場の造成と貸別荘の新築

【事業概要】

ミュージアムに併設したデイキャンプ場の整備
一棟貸しのコテージの新築

【波及効果】

地域内1名雇用

デイキャンプ場利用者の新たな人の流れ

一棟貸しの貸別荘による移住希望者のお試し暮らし



事業開始年月

令和5年秋頃（予定）



③ 梨園の事業承継及び観光梨狩り開園による産地の振興

【事業概要】

観光梨狩り園の開園

【波及効果】

地域内1名、地域外2名雇用

事業承継モデルの確立

観光客の増加と産地の認知度向上



事業開始年月

令和5年4月



④ 地域課題開発 L a b 拠点整備プロジェクト

【事業概要】

中山間地域において I O T やシステムを駆使し、
地域課題の解決を地域の中で試行錯誤できるローカルラボの整備

【波及効果】

地域内 2 名、地域外 1 名雇用
地域課題解決に関わる I T 人材の発掘と育成
地域課題に関わる関係人口の創出

地域課題開発 L a b 令和 5 年度末頃完成予定



令和5年度 認定事業一覧（3件）

事業者名	事業名	事業概要	平均点	地域
株式会社 IOWE 江口 裕	IOWE Marina (マリンアクティビティ事業)	・ SUPなどのマリンアクティビティコンテンツの提供 ・ 飲食サービスなどを提供する環境整備 ・ 地域内での宿泊を伴うイベントの実施	76.8点	秋穂
河上 敦	徳地のサウナ拠点整備事業	・ 自然資源や歴史資源を活用したサウナ施設の整備 ・ リラクゼーションサービスの充実（更衣室やコミュニティスペースの整備、地元食材等を使った軽食やドリンクの提供） など	76.4点	徳地
特定非営利活動法人 山口サッカー夢プロジェクト 山下 正信	秋穂中道ビーチ施設の整備事業	・ ビーチサッカー施設整備 ・ イベント会場としての施設貸出 ・ 地元の農産物や手工芸品を販売するショップやマーケットの開設 ・ マルシェや地域のイベント支援 など	75.2点	秋穂

山口県山口市 視察資料

(2) 新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備 (山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」)

KDDI 維新ホール

新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備



令和5年8月23日

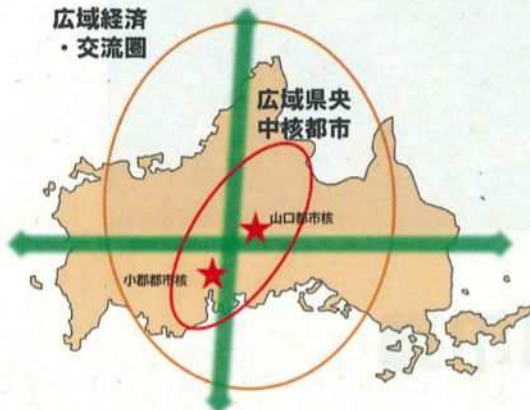
山口市

1. 産業交流拠点施設整備に至った経緯及び目的について

1-1. 概要①

- 山口市は、平成17年度の1市4町（山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町）の合併（平成21年度：阿東町と合併）により誕生し、行政、商業、文化等の高次都市機能が集積し、市民の社会的、経済的、文化的活動の中心である「山口」と、広域高速交通網の結節点であり、山口県の陸の玄関として業務機能を中心に市街地の形成が進む「小郡」という2つの求心力と拠点性を持つ市街地を有している。
- 本市はこの2つの市街地を「広域県央中核都市の核＝都市核」と位置付け、にぎわいにあふれ、地域経済の活性化を牽引することのできる広域交流拠点の形成を目指し、都市政策の柱の一つとして、広域県央中核都市づくりを推進している。

広域経済
・交流圏



山口都市核

長い歴史の中で積み重ねてきた行政、文化、教育、商業、観光等の都市の特性や既存ストックをより高める。

小郡都市核

新山口駅や周辺市街地を中心に、県全体の玄関にふさわしい、交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成する。

広域県央中核都市づくり

では、県都としての役割を果たす中で、高次の都市機能を集積し、サービス業の振興等を図り、市内や山口県央連携都市圏域等に対して高次の都市機能を提供することで、本市のあらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを進め、広域的な経済活力や交流を創出します。

山口県人口:約134万人
(R2国勢調査 全国第27位)



分散型都市構造であるため、県内の自治体全て、県人口比20%未満。

県央部における連携中枢都市圏域の取組を推進
(連携中枢都市：山口市、宇部市)

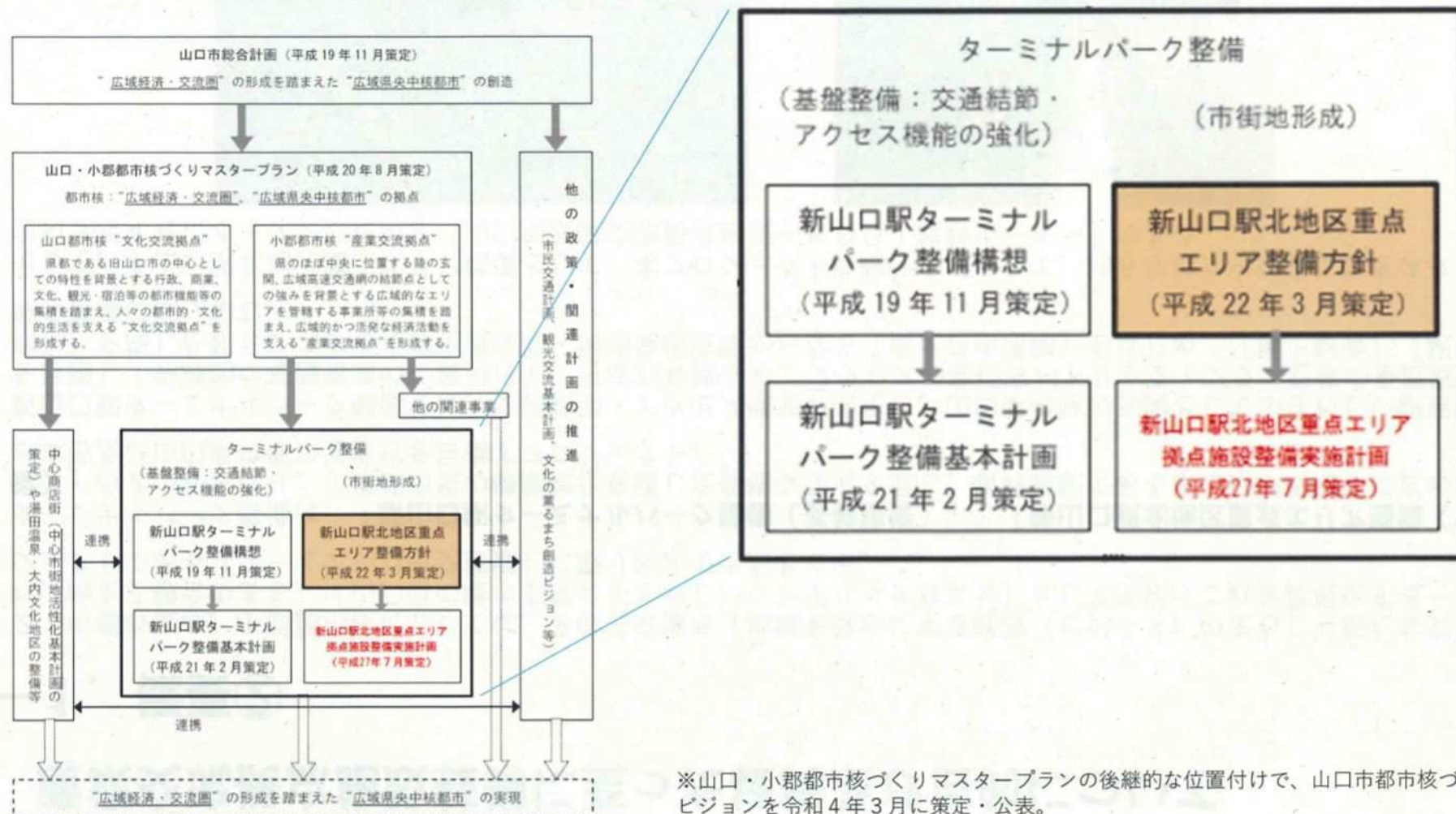
1. 産業交流拠点施設整備に至った経緯及び目的について

1-1. 概要②

- 2つの都市核の、小郡都市核においては、その将来像を「地域を豊かにする経済（ビジネス）のまち」「新たな交流が生まれ、始まる融合のまち」「山口県の陸の玄関にふさわしいシンボリックなまち」として掲げ、これを具現化する一大プロジェクトである「ターミナルパーク整備」に取り組んできたところ。
- ターミナルパーク整備は、「**新山口駅ターミナルパーク整備（基盤整備）**」と「**新山口駅北地区重点エリア整備（市街地整備）**」の2つからなり、小郡都市核の機能強化を通じた多様な交流を促し、新幹線駅である新山口駅周辺のにぎわいの創出と本市及び山口県央部の活性化を目指すプロジェクト。
- 新山口駅ターミナルパーク整備では、交通結節・アクセス機能の強化と、山口県の陸の玄関としてふさわしい駅空間の形成を目指し、先導的な基盤整備の位置付けで、平成22年度から、フランスの芸術家パトリック・ブラン監修の垂直庭園（壁面緑化）を施した新しいスタイルの交流空間・情報発信空間からなる「南北自由通路」をはじめ、「橋上駅舎」「駅前広場」等の整備に取り組む。
- そして、新山口駅北地区重点エリア整備として、本プロジェクトの総仕上げとして、約5年前から建設工事をスタートし、令和3年4月にオープンしたのが「山口市産業交流拠点施設～KDDI維新ホール～」である。



参考①：新山口駅ターミナルパーク整備構想と新山口駅北地区重点エリア整備方針の関連性



※山口・小郡都市核づくりマスタープランの後継的な位置付けで、山口市都市核づくりビジョンを令和 4 年 3 月に策定・公表。

参考②：新山口駅北地区重点エリア整備の大枠



山口市産業交流拠点施設

Aゾーン：先行整備地区

新山口駅北口駅前広場に隣接する遊休地一帯をAゾーンと位置付け、産業振興をはじめとし、先行的な市街化を図る。

Bゾーン：民間誘導地区Ⅰ

駅前通り及びアクセス道路周辺一帯をBゾーンと位置付け、飲食・物販、サービス、業務・オフィスなど、民間主導による市街地整備を促進する。

Cゾーン：民間誘導地区Ⅱ

重点エリア北西に位置する一体をCゾーンと位置付け、住居、業務・オフィスなど、民間主導による市街地整備を促進する。

参考③：Bゾーン「市街地再開発事業」の実施



施行者：新山口駅北地区市街地再開発組合

面積：約0.4ha

総事業費：約52億円

整備内容：マンション、ホテル、賃貸住宅、商業・業務施設等

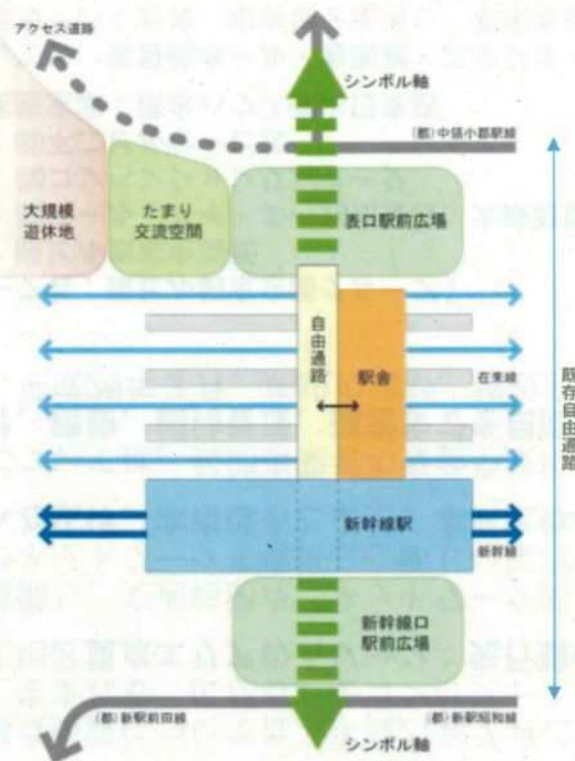
再開発準備組合設立：平成7年（平成27年再結成）

都市計画決定：令和2年3月

施行期間：令和2～6年（完成予定）

参考④：新山口駅ターミナルパーク整備 - 7つの基盤整備概要

【平面図】



①南北自由通路

切符なしで自由に往来できる歩行者専用の通路を整備し、駅南北の移動の円滑化と一体感を創出。延長160m・幅員10mで、緑化と文化を融合した新しいスタイルの交流・対流空間、情報発信空間として整備。

②橋上駅舎

南北自由通路と調和し、バリアフリー化された駅舎を整備。改札等をはじめとする駅機能+コンビニエンスストアも併設。

③表口駅前広場

駅前広場を0番線と見立てた“まちと駅をつなぐ「0番線」”をコンセプトに、交通結節・アクセス機能の強化を図り、次世代にわたり存在感を発揮し続けることのできる魅力あふれる駅空間を整備。南側に約14m・西側に約90m拡張し、バス・タクシー・自家用車の乗降場、待合情報センター、交番、公衆トイレ、その他サービス機能等を配置。

④新幹線口駅前広場

路線バス機能を表口に集約することにより、今まで混在していたタクシーと自家用車を分離し、混雑の解消された安全性の高い駅前広場を整備。

⑤既存自由通路

自転車利用を中心とした通路として部分的に改良。

⑥県道新山口停車場長谷線

表口駅前のシンボルロードとして、周辺地域への回遊が図られるような美装化や緑化等を促進。

⑦アクセス道路

平成23年7月に開通した県道山口宇部線の長谷ランプと新山口駅を結ぶ広域的なアクセス道路として、又、駅北地区の回遊性の源となるような快適で潤いのある空間整備を促進。

※整備イメージ

1. 産業交流拠点施設整備に至った経緯及び目的について

1-2. 産業交流拠点施設のコンセプト及び整備手法等

- 産業交流拠点施設については、平成27年7月に「新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備実施計画」を策定し、「出会う つながる 生まれる 広がる」をコンセプトとし、**産業やにぎわい、新たなビジネスを生み出す“核”となる施設**として、新山口駅北地区**重点エリアのAゾーン：先行整備地区に整備**を行なったもの。
- 本施設を整備し、交通結節点、ネットワーク拠点という小郡の地域特性を更に生かすことにより、新たな交流を生み出し、人と人とのネットワークを構築し、新しい知恵や創造性へとつなげるとともに、**小郡都市核で生み出される活気とにぎわいを市全体へと広げ、本市はもとより、本県全体の発展に寄与**することを目的とする。
- 整備手法については、民間事業者の資金や技術力、創意工夫、ネットワーク等を生かし、より魅力のある施設となるよう、**施設の設計、建設、維持管理、運営までを民間事業者に一体的に委ねる「PFI的手法」を採用**し、公募型プロポーザル方式により、平成29年3月、施設の設計、建設及び管理運営を一体的に担う事業者グループを以下の通り選定。

(事業者グループ名：森ビル都市企画グループ)

○代表企業：森ビル都市企画(株)

○構成員：(株)アール・アイ・エー九州支社、大成建設(株)中国支店、積水ハウス(株)山口支店、
(株)コンベンションリンケージ

○協力会社：(株)不二ビルサービス

○民間事業実施企業：積水ハウス(株)山口支店

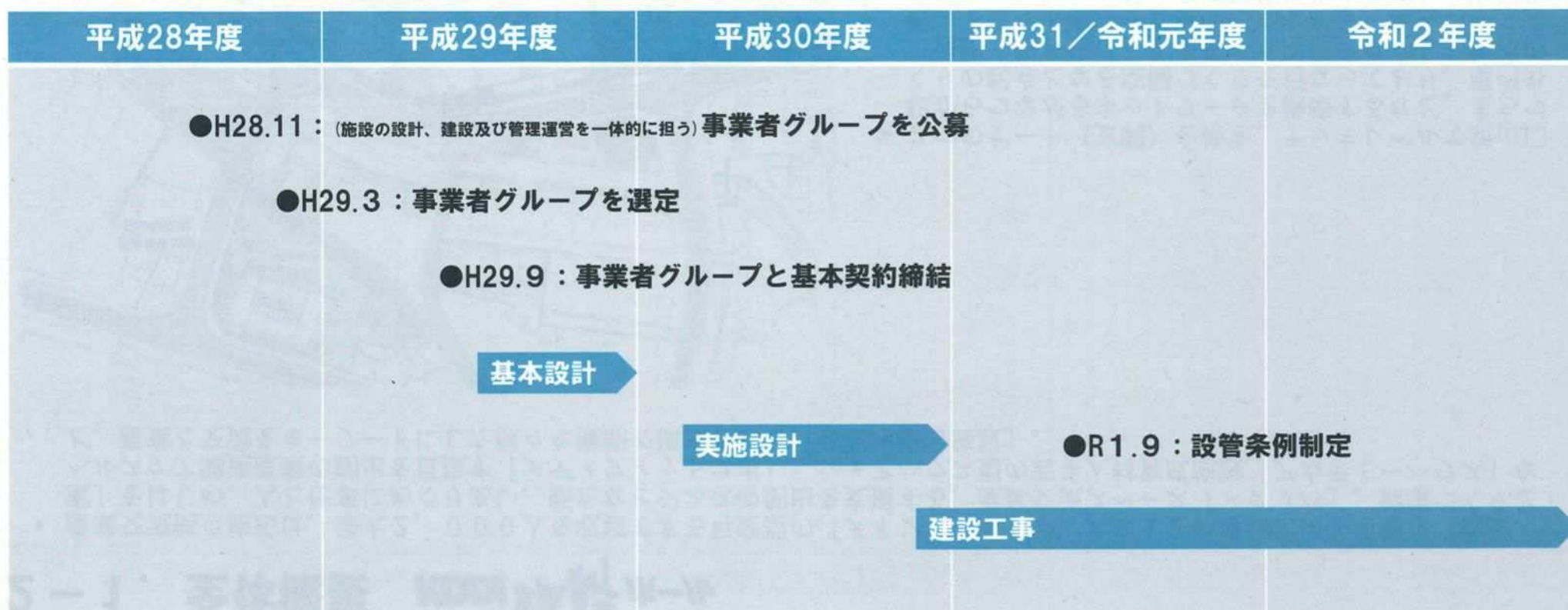
※公募に際しては、多目的ホール・会議室・スタジオ・駐車場など、市が求める機能は必須施設として位置付けを行なった上で、**まちの魅力をさらに高めていくため、市有地を活用し、事業者自らが整備及び管理運営を行う民間収益施設の提案を必須項目として求めるとともに、公共施設の利便性の向上及び市民生活の質の向上に資する独自提案を任意で求める**かたちを取る。

⇒民間収益施設：環境配慮住宅

⇒独自提案施設：ライフイノベーションラボ（健康産業支援施設）、アカデミーハウス（人的交流施設）

1. 産業交流拠点施設整備に至った経緯及び目的について

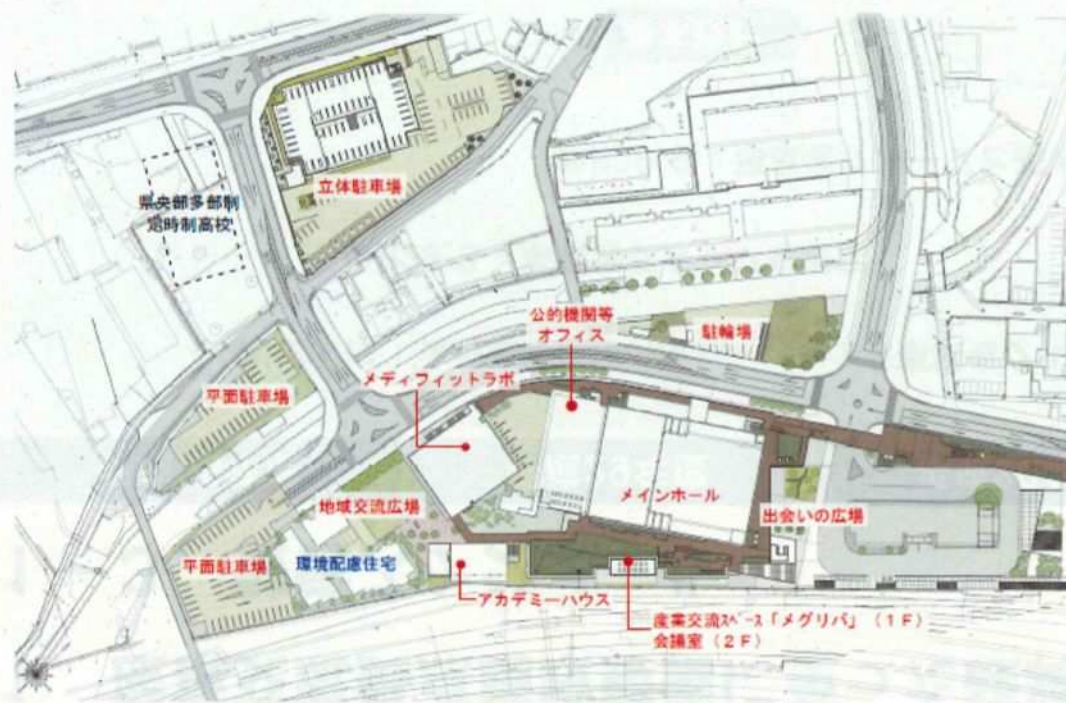
1-3. 整備スケジュール



2. 産業交流拠点施設について

2-1. 全体概要 **KDDI 維新**ホール

- 産業交流拠点施設は、最大2,000人を収容できる可変型の「メインホール」や、大小12の連結利用も可能な「会議室」をはじめ、人と仕事にめぐりあい、新たなビジネスの創出を支援する、産業交流スペース「メグリバ」、健康づくりとヘルスケア関連産業の創出を目指す「メディフィットラボ」、シェアハウス型の若手人材育成施設「アカデミーハウス」など、産業と交流をキーワードにした様々な機能で構成される「多機能複合施設」。



- 2つのゲート（玄関）を持ち、デッキレベルで新山口駅からつながるネットワークを構築するなど、まちづくりの起点となる空間づくりを行っており、屋内外の通路や吹き抜け、広場等の共用部分を介し、施設の有する個々の機能が有機的につながり、出会いや交流、にぎわいといった動きが連鎖的に生まれることを目指した機能配置としている。
- 施設インフラとして、5G環境（メインホール・産業交流スペース／キャリア5G）を有する。

2. 産業交流拠点施設について

2-2. 構成施設

メインホール ～多彩なMICE／イベントの新拠点～

2,000席（県内最大）の収容能力を有し、座席収納時には1,000㎡程度の平土間としての利用など、様々な規模や用途等に柔軟に対応できるほか、一定レベルの通信、音響機能を有する。コンベンション、展示会等のほか、音楽コンサートや演劇、ライブビューイング、市民活動の発表の場などとして利用可能。

メグリバ ～多種多様な交わりで、ビジネスチャンスにめぐりあえる場～

実践的なビジネス支援とともに、セミナー・イベント等の開催を通して、新たな交流やビジネスコミュニティを日常的に生み出す。更に、テストマーケティングの場として、シェアキッチンやチャレンジショップ等の事業を展開するとともに、デジタル人材の育成やネットワーク化、デジタル技術を生かした仕事創出を目指す。

メディフィットラボ ～健康づくりとヘルスケア関連産業の創出拠点～

医学的視点を取り入れた運動プログラム等を提供・実践するメディカルフィットネスを整備（施設概要：ジム・スタジオ・浴室等）。施設内の整形外科クリニック等との連携により、市民の健康寿命の延伸や健康経営の促進等を目指す。更に、山口県等とも連携しながら、ヘルスケア分野の新産業の創出に向けた取組を進める。

アカデミーハウス ～シェアハウス型の若手人材育成施設～

学生や若い社会人等を対象とした居住型の人材育成施設（21戸）を整備。1年間の共同生活における他者・地域との共生や、専門家がバックアップするPBLやキャリア開発プログラム等を通して、山口地域を牽引する次世代のリーダーとなりうる自律した人材の育成とコミュニティの醸成等を目指す。

公的機関等オフィス

やまぐち産業振興財団や山口しごとセンターなど、産業支援や人材育成に資する公的機関等のオフィスを整備。

その他施設（会議室、メインスタジオ、音楽スタジオ、駐車場、駐輪場等）



2. 産業交流拠点施設について

2-3. 整備費及び財源内訳（運営費は含まず）

事業費内訳

（単位：百万円）

業務内容	金額	契約相手方
プロジェクトマネジメント	436	森ビル都市企画株式会社
基本設計	99	株式会社アール・アイ・エー
実施設計	251	株式会社アール・アイ・エー
工事監理	130	株式会社アール・アイ・エー
建設工事	9,763	大成建設・積水ハウス・鴻城土建工業JV
備品	320	入札等により決定
建築確認申請手数料等	9	各確認審査機関
合 計	11,008	

財源内訳

（単位：百万円）

財源種類	金額	備考
国費	1,088	社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金
起債	5,934	公共事業等債、合併特例債等
一般財源等	3,986	合併特例基金、地域振興基金等
合 計	11,008	

2. 産業交流拠点施設について

2-4. 管理運営体制

施設		運営	維持管理
公共施設	メインホール	指定管理者	指定管理者
	メディフィットラボ		
	アカデミーハウス		
	会議室	(維持管理・運営) V)	(維持管理・運営) V)
	スタジオ	森ビル都市企画(株)	森ビル都市企画(株)
	広場	(株)コンベンションリンケージ	(株)コンベンションリンケージ
	駐車場	※民間テナント部分を除く	
	駐輪場		
	産業交流スペース「メグリバ」		
	公的機関等オフィス	指定管理者 (株)ツクリエ	
環境配慮住宅*		入居機関	
(市有地を活用する民間の独立採算事業)		積水ハウス不動産中国四国(株)	積水ハウス不動産中国四国(株)

*誘致企業で働く人やふるさと山口への帰郷を望む人たちの住まいの受け皿となる賃貸住宅(3棟35戸)

【指定期間】
令和3年4月1日～令和18年3月31日
(15年間)

指定管理料予算(年額): 約3.4億円

【公的機関等オフィス】

- 4F 公益財団法人
やまぐち産業振興財団
- 2F 《オフィス棟》
- 3F 山口しごとセンター
山口新卒応援ハローワーク
山口県福祉人材センター
《オフィス棟》
- 1F 山口商工会議所
広域ビジネスサポートセンター
《産業交流スペース「メグリバ」内》

【指定期間】
令和3年4月1日～令和6年3月31日
(3年間)

指定管理料予算(年額): 約5,400万円

2. 産業交流拠点施設について

2-4. 管理運営体制【森ビル都市企画・コンベンションリンケージ共同企業体の管理運営体制(詳細)】

全体統括	: 森ビル都市企画(株)
ホール等運営	: (株)コンベンションリンケージ (運営統括・催事誘致等)、(有)ラグタイム (舞台管理)
メディフィットラボ運営	: 森ビル都市企画(株) (運営統括)、 山口スイムサービス(株)・小郡第一総合病院 (メディカルフィットネス運営)
アカデミーハウス運営	: 森ビル都市企画(株) (運営統括)、学校法人Y I C学院 (プログラム企画・運営等)
警備・清掃等	: (株)不二ビルサービス

※メディフィットラボ内においては、3階フロアにて、指定管理事業と連携する形で、整形外科クリニック(実施主体:小郡第一総合病院)、薬局・カフェ(実施主体: (株)メディカルフェイス)を民間事業として実施。

【指定管理業務の仕様概要】

ホール - 多彩なMICE/イベントの新拠点 - 【実施主体】 コンベンションリンケージ ラグタイム(舞台管理) 【主な業務】 メインホール・会議室等の管理運営 コンベンション等の誘致・営業 主催者等へのサービス提供 企画事業(全館イベントを含む)の実施	メディフィットラボ - 健康づくりとヘルスケア関連産業の創出拠点 - 【実施主体】 森ビル都市企画 山口スイムサービス・小郡第一総合病院 【主な業務】 スポーツクラブ(メディカルフィットネス)の管理運営 健康イベント・セミナー等の実施 ラボ事業の推進	アカデミーハウス - シェアハウス型の若手人材育成施設 - 【実施主体】 森ビル都市企画 Y I C学院 【主な業務】 人材育成プログラムの企画・提供 地域連携企画の実施 新規利用者の獲得 利用者のフォローアップ(OB・OG会組織等)	メグリバ - ひととしごとにめぐりあう場 - 【実施主体】 ツクリエ 【主な業務】 コワーキング・カフェ等の管理運営 ビジネスセミナー・イベント等の実施 ビジネス育成支援、起業・経営相談 DX促進・デジタルビジネス創出(別委託)
--	--	--	---

2. 産業交流拠点施設について

2-5. 令和4年度利用実績

施設	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	令和3年度 実績	備考(令和4年度KPI)
メインホール	利用人数	5,782	5,280	4,151	6,870	9,566	9,766	10,910	10,740	8,910	5,427	5,736	8,000	91,138	68,977	KPI: 120,000人
	稼働率	57%	54%	32%	55%	60%	60%	90%	90%	63%	44%	63%	64%	62%	54%	KPI: 50%
	ネット・コンベンション系開催件数	6	5	6	6	6	8	10	14	7	5	9	8	90	52	KPI: 80件
会議室	利用人数	3,498	3,019	5,015	5,693	6,725	4,350	4,581	4,671	7,496	4,594	7,485	5,086	62,213	38,573	
	稼働率	59%	49%	76%	73%	79%	76%	88%	93%	80%	74%	85%	83%	76%	50%	
メインスタジオ	利用人数	490	90	282	605	831	2,264	325	389	452	240	615	317	6,900	3,289	
	稼働率	39%	17%	32%	62%	33%	43%	73%	77%	48%	36%	58%	48%	47%	20%	
音楽スタジオ	利用人数	61	47	57	90	177	57	75	138	150	69	172	120	1,213	802	
	稼働率	30%	22%	29%	40%	42%	29%	48%	55%	54%	54%	62%	62%	44%	29%	
会議室・スタジオ 全体	利用人数	4,049	3,156	5,354	6,388	7,733	6,671	4,981	5,198	8,098	4,903	8,272	5,523	70,326	42,664	KPI: 60,000人
	稼働率	54%	44%	67%	68%	71%	67%	82%	86%	74%	69%	80%	78%	70%	45%	KPI: 60%
メディフィットラボ	利用人数	9,802	10,718	11,270	10,552	10,421	9,490	10,637	10,394	9,213	9,899	10,747	10,828	123,971	111,858	KPI: 165,000人
アカデミーハウス	利用人数	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	*	21	KPI: 21人
駐車場	利用台数	14,636	13,135	15,400	15,275	14,342	13,610	14,173	14,288	12,484	11,970	14,047	15,164	168,524	148,572	
メグリバ	利用人数	2,486	4,067	6,427	6,004	5,778	4,974	6,513	5,321	4,347	5,272	6,584	5,636	63,409	38,927	KPI: 37,000人
	セミナー等参加者数	312	313	2,006	362	378	297	693	110	72	129	136	298	5,106	6,061	KPI: 5,100人
	起業等相談件数	40	64	59	31	36	40	23	26	25	45	58	75	522	513	KPI: 510件
	ワーキングスペース会員数	42	40	39	41	40	37	36	36	41	42	45	48	*	41	KPI: 60人

※1 令和3年度のメインホールは7/1から稼働

※2 令和3年度の会議室・メインスタジオ・音楽スタジオは4/19から稼働

3. 各構成施設の利用概要及び実績等について

3-1. メインホール等／利活用事例（1/4）

（式典・講演会）



（アーティストコンサート）



（演奏会）



（演奏会／ピアノリサイタル）



3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-1. メインホール等／利活用事例（2/4）

（2021年度・維新ホール感謝デー）



3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-1. メインホール等／利活用事例（2/4）

（2022年度・維新ホール感謝デー）



3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-1. メインホール等／利活用事例（4/4）

（車展示会）



（企業説明会）



（興行／ボクシング）



（服飾展示／デザインウィーク）



（オンライン会議／会議室）

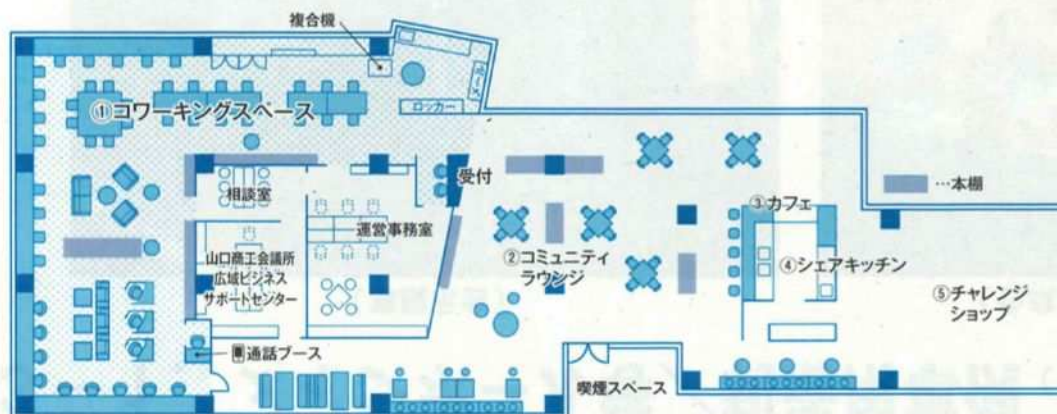


3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-2. 産業交流スペース「メグリバ」

【施設・事業概要】

- ・ コワーキングスペース（会員制）、コミュニティラウンジ（フリースペース）、カフェ、シェアキッチン等で構成され、あらゆる方に向け、出会いや学び、チャレンジの機会を用意した、新しいビジネスを創り出す場所。
- ・ 常駐のインキュベーションマネージャーやコミュニティマネージャーを中心に、国・県・市の様々な産業支援機関と連携しながら、起業創業を始め、ビジネスに関する相談支援やビジネスマッチングの促進等に取り組むとともに、セミナー・イベント等の開催を通じ、新たなビジネスコミュニティの創出や次代をリードする企業と人材の育成を図る。
- ・ 実践的なビジネス支援としての機能のみならず、誰でも利用可能なコミュニティラウンジを中心に、新たな交流やビジネス・コミュニティを日常的に生み出す場としての利用も進む。



《コワーキングスペース》

オフィスとして利用できる会員制（有料）のスペース。Wi-Fi環境、メールボックス、複合機等の完備。住所利用、法人登記等も可。

《コミュニティラウンジ》

ビジネスセミナーや交流会、イベントを定期的に開催。商談やミーティングなど、誰でも気軽に利用できるフリースペースとしても開放。

《カフェ》

地元で焙煎する珈琲豆を使ったドリップコーヒーをはじめ、山口産クラフトビールなど、こだわりのメニューを提供。お弁当の委託販売も可能。

《シェアキッチン》

「自分のお店を開いてみたい」という人なら誰でも低リスクで飲食店にチャレンジできる場所。本格的開業に向けた実地トレーニングの場として運営。

《チャレンジショップ》

地元名産品や手作りのクラフトやアクセサリ等、ギャラリー的に商品の展示や販売に活用できるスペース。

自主
事業

3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-3. メディフィットラボ

メディフィットラボは、山口市産業交流拠点施設の構成施設の一つで、医学的視点を取り入れた運動プログラム等を提供・実践するメディカルフィットネスとして、**令和3年4月から運営を開始**（施設概要：ジム・スタジオ・浴室等）。**1・2階のスポーツクラブ**の運営を中心に、**施設3階の整形外科クリニック、薬局・カフェとの連携**も図りながら、**市民の健康寿命の延伸や健康経営の促進、ヘルスケア産業の振興**を目指す。

- 本施設は、**一般のスポーツクラブと一線を画した、地域医療と連携したメディカルフィットネス**としての役割を果たしていくため、厚生労働省の健康増進施設認定制度に基づき、健康増進のための有酸素運動を安全かつ適切に対応可能な「**運動型健康増進施設**」の認定、更に、生活習慣病等の予防・改善のための運動療法を行うに適した「**指定運動療法施設**」の指定を取得。
 - 管理栄養士との協力による**栄養指導・生活指導**のほか、**市民向けの健康セミナー・イベント等**も幅広く実施中。
 - 指定運動療法施設として、令和5年1月以降、**かかりつけ医の指示に基づく運動療法**を推進中。
- 利用者の意見や運動・健康データ等の利活用により、ヘルスケア分野における産業振興や有益な市民還元を目指す「**ラボ事業**」を展開。
 - 令和3年度からの継続事業として、小郡第一総合病院と連携し、ゼブリス（高性能足圧分布計測システム）活用による転倒リスクの評価方法及び有効な介入方法を確立するための研究等を実施中。
 - 個別プロジェクトとして、国立研究開発法人物質・材料研究機構（NIMS）と山口市、森ビル都市企画株式会社（山口市産業交流拠点施設指定管理者）の三者で締結済（締結日：2022年11月18日）の「ウェルビーイングにつながる産業創出をテーマとした事業連携に関する協定」に基づく実証実験を展開中。
 - 山口県とも連携する中で、施設3階に「**やまぐちヘルスラボ（県・市共同事業）**」を併設。ヘルスケア関連の製品・サービスの評価・検証に市民・県民がモニターとして参画する仕組みを提供するなど、企業の製品開発や新規事業化を支援。



3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-4. アカデミーハウス／令和4年度活動概要(1/2)

アカデミーハウス独自のプログラム“P.C.T.プログラム”/

哲学をベースとした
時間共有型のキャリア開発
P.C.Tプログラム

Philosophy-based
Career Development Through
Time Sharing

PBL

哲学的思考を習得したうえで、自新しいアイデアや手法による課題解決を実践します。そのため、グループに分かれて地域活性化のためのプロジェクトに取り組みます。プロジェクト遂行の全プロセスを通じ、課題解決能力、ファシリテーション、リーダーシップとフォローシップ、マネジメントなどのスキルを実践的に学ぶことで、地域、組織を牽引していきける人材へと成長します。

Smart Career Salon

メンバー限定の対話型の学び。最新の話題を中心に社会的テーマを取り扱い、社会の課題や課題解決について考える際に必要とされる知識や情報をインプットし、正解のない事柄への自らの意見や考えをアウトプットするスキルを習得します。



キャリア開発

自己理解、環境分析を元に社会や組織と共生し続ける自身のキャリアビジョンを設定します。キャリアビジョンに対する行動計画を作成し、個別のキャリアコンサルティング(個別面談)を通じて、自発的・継続的に能力開発に取り組める視点、手法を学びます。



哲学カフェ

地域住民など誰でも参加できる公共的な対話型のイベントです。一つのテーマについてみんなで考えを深めていきます。多様な意見を聴くこと、受止めることで価値観や考え方の幅を広げ、多様性を養い、成長へとつなげます。



地域連携企画

地域コミュニティや地元企業・団体との交流や連携企画を通じて、双方向な地域振興の促進を目指します。



最新の活動状況は
以下note記事で閲覧可



<https://note.com/ishinhall>

3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-4. アカデミーハウス／令和4年度活動概要（2/2）

ACADEMY HOUSE

第二期生が取り組む
“PBL活動”

PBL Activities

「enJoin（エンジョイン）」



「山口＝〇〇がない」という問題を提示し、西の京と呼ばれる山口市を全国に知ってもらいたい、山口市を和の街にしたい。
鹿棄野菜を使って「和 × 鹿棄野菜」で、和文化の発信、もったいないの削減を目指して活動中。

PBL Activities

「オープンサンドイッチ」



「若者の流出」に着目し、山口県内就職者を増やすべく、山口県内企業の魅力を体験する場を提供することを企画。
企業 × 学生がお互いに本気で取り組む PBL 活動を推進中。

PBL Activities

「!ATER'ず（ビックリエイターズ）」



山口県に新しいものや考え方が入ってこないという問題に着目し、現状を変える行動ができる若者の育成が必要だと考える。
学生の「できない」気持ちを「できる」に変えることができるプログラムを開発中。

最新の活動状況は
以下note記事で閲覧可



<https://note.com/ishinhall>

3. 各構成施設の取組概要及び実績等について

3-5. 施設を運営する上での課題認識

交流と賑わい、新たなビジネスの創出 × 新たな付加価値の創造 × 経済効果の発揮 } 市域・圏域への広域波及

ホール - 多彩なMICE/イベントの新拠点 - 〔実施主体〕 コンベンションリンケージ ラグタイム(舞台管理) 〔主な業務〕 メインホール・会議室等の管理運営 コンベンション等の誘致・営業 主催者等へのサービス提供 企画事業(全館イベントを含む)の実施	メディフィットラボ - 健康づくりとヘルスケア関連産業の創出拠点 - 〔実施主体〕 森ビル都市企画 山口スィムサービス・小郡第一総合病院 〔主な業務〕 スポーツクラブ(メディカルフィットネス)の管理運営 健康イベント・セミナー等の実施 ラボ事業の推進	アカデミーハウス - シェアハウス型の若手人材育成施設 - 〔実施主体〕 森ビル都市企画 YIC学院 〔主な業務〕 人材育成プログラムの企画・提供 地域連携企画の実施 新規利用者の獲得 利用者のフォローアップ(OB・OG会組織等)	メグリバ - ひととしごとにめぐりあう場 - 〔実施主体〕 ツクリエ 〔主な業務〕 コワーキング・カフェ等の管理運営 ビジネスセミナー・イベント等の実施 ビジネス育成支援、起業・経営相談 DX促進・デジタルビジネス創出(別委託)
--	--	--	---

【課題認識】

- ・ メインホール・会議室等の稼働状況はある程度確保出来ている中で、地域経済効果やブランディングに寄与する**政府系会議、学術大会、大型集会・大会等の誘致・開催**の実現の他、**企画事業における良質なコンテンツ提供**など、中身・質にこだわっていく必要有。山口・小郡の両都市核間連携による、**市内回遊促進施策**も重要な課題。
- ・ メディフィットラボが単なるスポーツクラブとなってしまうよう、健康運動増進施設・指定運動療法施設としての取組の推進に加えて、**ヘルスケア関連産業の創出拠点**として、施設のリソースを有効活用しながら、**企業或いは研究機関向けのサービスの提供・充実**を図っていく必要有。
- ・ アカデミーハウスの新規利用者の獲得(令和4年度:14人/21人中)をよりスムーズに進め、アカデミーハウス生という、**地域の未来を切り開く次世代リーダーのコミュニティをより大きく、質の良いもの**にしていく上で、OB・OG会組織の活性化を含め、**人材育成プログラムの見直し**とともに、**ブランディングの強化**を図る必要有。
- ・ メグリバにおいて、幅広い起業・創業支援、中小企業支援への対応やビジネスコミュニティづくりなど、産業交流スペースとしての一定の成果が上がってきている中で、新規スタートアップ・ベンチャーの発掘をはじめ、第二創業の促進など、**次代をリードする企業と人材の育成を推進**していく上では、**独自のサービスやプログラムを企画・展開**するなど、**他の支援機関や類似施設との差別化**を図る必要有。

※一部再掲(指定管理業務の仕様概要,p13)